

## 中高一貫教育校の設置に係る検討経過について

### 1 教育委員会での審議

「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針（案）」及び関連する請願（4件）を継続審議中。

7月28日（火） 臨時会  
8月4日（火） 定例会  
8月25日（火） 臨時会  
9月8日（火） 定例会

### 2 南高等学校関係団体への説明

教育長より、中高一貫教育校の設置に関する基本方針の説明及び意見交換

8月1日（土） 南高校PTA・同窓会・後援会に対する説明会  
南高校関係者からの質問・意見書を受領（回答については送付済）

### 3 市民からの意見聴取

中高一貫教育校設置に関する基本方針(案)を教育委員会ホームページに掲載し、市内18区役所等で配布。

現在、市民意見を募集中。期間：8月10日～9月25日

# 横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針（案）

## 1 はじめに

- (1) 中高一貫教育校は、中学校と高等学校の6年間の学校生活の中で、創造性や豊かな個性を伸ばすことを目的として、学校教育法の一部改正により**平成11年度から導入**され、これまでに**全国で334校が設置**されています。
- (2) 本市では、**魅力ある市立高校の実現**を目指して、横浜商業高校の国際学科や横浜サイエンスフロンティア高校理数科の設置、定時制の見直しなど、高校改革を推進してきました。また、中高一貫教育校についても、平成10年度から検討を重ねてきました。
- (3) 本市が設置することによって、市民ニーズが高い中高一貫教育校を、**経済的負担が少ない公立校という選択肢として提供**することができます。

## 2 設置の意義と期待される教育効果

中高一貫教育校を設置することによって期待される教育効果は、次のとおりです。

- (1) 生徒が6年間、**高校入試の影響を受けず**に、安定した環境の中で余裕のある学校生活を送ることができます。
- (2) **6年間の計画的・継続的な教育活動**を展開することができます。
- (3) 学年の異なる生徒同士が、特別活動や部活動などの共通の活動を通し、**社会性や豊かな人間性を育成**することが期待できます。
- (4) 6年間にわたり、将来の横浜を支えていく子どもたちの**優れた才能を発見し、個性豊かにたくましく育てる**ことができます。
- (5) 6年間一貫した教育の視点に立って、**横浜の様々な分野で活躍する、志の高いリーダーとなる人材を育成**することができます。
- (6) **経済的理由にかかわらず、中高一貫教育校を選択**できます。

### 3 設置予定校

次の理由により、南高等学校を設置予定校とします。

- (1) 創立以来、半世紀の伝統と実績があり、**広く市民から信頼**が寄せられています。
- (2) 国公立大学への**進学実績**など、一定の評価を得ています。
- (3) 敷地面積が市立高校の中では最も広く、**施設設備が充実**しています。
- (4) 南高等学校では、これまでに「**高い学力を身につけた、将来のリーダーの育成**」を目標に掲げ、**横浜の将来を担う市民**を育てることを使命としてきました。

### 4 設置形態

中高一貫教育校の特色を活かすために、次の理由により、**中等教育学校**とします。

- (1) 併設型のように教育課程を2つ用意する必要がなく、生徒全員に対し一つの教育課程で6年間、系統的な指導ができます。
- (2) 併設型に比べ、より多くの授業日数を確保でき、新たな教育活動を展開することが可能となります。
- (3) 生徒全員が6年間を通じて、異年齢集団の中で、人間関係を構築することにより、社会性や豊かな人間性を育成することができます。
- (4) 一体的な職員組織を編成することで、6年間を通じて一層計画的な指導に取り組むことができます。

### 5 学校規模

**1学年4クラス、160名定員**（男女各80名）

### 6 開校までのスケジュール

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
教育内容	○教育目標と教育内容の検討	○教育課程、学校行事計画の決定 ○教科書採択方針	○教科書採択	<b>○開校</b> (中学校学習指導要領完全実施年)
職員配置	○職員配置計画立案	○中高の免許のある教員を配置		
施設設備	○施設改修計画立案	○施設改修の設計	○施設改修実施	
適性試験	○試作問題の作問	○試作問題公表 ○適性試験作問	○適性試験等による選抜実施	
広報	○計画公表	○学校説明会	○学校説明会	